石川町 議会だより

No. 187
平成28年 5月1日
発行／石川町議会
編集／石川町議会広報
編集特別委員会

▲満開の桜の下で（石川文化幼稚園）

2016
3月定例会

P2 3月定例会審議結果
P6 紙上中継（各常任委員会）
P7 3月定例会一般質問
P14 あれからどうなった？（一般質問のその後は）

平成28年度予算決まる　一般会計 特別会計 109億7365万円

平成28年度当初予算主な事業

産　業
“にぎわいと活気のあふれるまち”
〈事業費6億1413万円〉

- 農林業の振興
- 商業の振興
- 企業の振興
- 観光の振興

保健・福祉・医療
“健やかで人にやさしいまち”
〈事業費56億7916万円〉

- 地域福祉の推進
- 児童福祉の充実
- 障がい者福祉の充実
- 高齢者福祉の充実
- 人権尊重・男女共同参画の推進
- 保健・医療の充実

教育・文化・スポーツ
“豊かな心と文化を育むまち”
〈事業費4億7212万円〉

- 生涯学習の充実
- 青少年の健全育成
- 学校教育の充実
- 文化の振興と文化遺産・鉱物の保存・活用

生活・環境
“安全・安心で快適なまち”
〈事業費16億6025万円〉

- 土地利用の推進
- 資源循環の推進
- 消防・防災対策の充実
- 交通安全・防犯対策の充実
- 公共交通機関の充実
- 生活道路の充実 など

地域自治
“ともに力を合わせてつくるまち”
〈事業費4996万円〉

- 地域自治
- 各地区まちづくり計画

町民・行政
“町民の信頼に応えるまち”
〈事業費1億5140万円〉

- 情報化の推進
- 町民参加の推進
- 効率的な行財政の運営
- 広域行政・地方分権の推進

3月定例会

平成28年3月定例会は、3月3日から10日までの8日間の会期で開かれ、条例制定や補正予算、当初予算など、議案37件、請願4件、議員発議4件を審議しました。

一般質問には7人の議員が登壇し、町政を問いました。傍聴には22人が訪れました。

▲完成が待たれる役場新庁舎

議案番号	議　案	番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	議長
		議決結果	根本 重泰	近内 雅洋	瀬谷 寿一	小木 芳郎	増子美知夫	草野 伝明	関根 武一	渡辺 実	瀬谷 京子	永沼 一夫	矢内 義將	中村孝太郎	山田 英重	下山田和雄
議案第29号	平成28年度石川町一般会計予算〔総額〕65億6595万円（前年比14.7%減）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−
議案第30号	平成28年度石川町国民健康保険特別会計予算〔総額〕24億156万円（前年比3.3%減）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−
議案第31号	平成28年度石川町後期高齢者医療特別会計予算〔総額〕1億5287万円（前年比0.9%減）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−
議案第32号	平成28年度石川町介護保険特別会計予算〔総額〕16億6940万円（前年比2.3%減）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−
議案第33号	平成28年度石川町母畑財産区特別会計予算〔総額〕56万円（前年比77.5%減）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−
議案第34号	平成28年度石川町中谷財産区特別会計予算〔総額〕44万円（前年比28.0%減）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−
議案第35号	平成28年度石川町土地開発事業特別会計予算〔総額〕424万円（前年比5.2%減）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−
議案第36号	平成28年度石川町簡易水道事業特別会計予算〔総額〕1億3778万円（前年比3.6%増）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−
議案第37号	平成28年度石川町宅地造成事業特別会計予算〔総額〕4085万円（前年比12.5%減）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−
議案第38号	平成28年度石川町水道事業会計予算〔総額〕2億3880万円（前年比4.1%減）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−

こんなことが決まりました

条例・予算・請願など

議案番号	議案	番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	議長
		議決結果	根本重泰	近内雅洋	瀬谷寿一	小木芳郎	増子美知夫	草野伝明	関根武一	渡辺実	瀬谷京子	永沼一夫	矢内義將	中村孝太郎	山田英重	下山田和雄
議案第6号	石川町行政不服審査会条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第7号	石川町行政不服審査法関係手数料条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第8号	石川町職員の退職管理に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第9号	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第10号	石川町議会議員の議員報酬の特例に関する条例等を廃止する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第11号	石川町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第12号	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第13号	石川町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第14号	石川町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第15号	石川町議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第16号	石川町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第17号	石川町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第18号	石川町税条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第19号	石川町新生児誕生祝金支給条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第20号	石川町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第21号	石川町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第22号	石川町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第39号	石川町老人ディサービスセンター長生園に係る指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第40号	石川町共同福祉施設に係る指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第41号	路線の町道認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第42号	石川町副町長の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－

選挙管理委員会委員及び同補充員決まる

任期満了に伴い、指名推薦により選挙管理委員会委員に、福田徳男氏（新町）、増子憲夫氏（沢井）、佐久間正行氏（双里）、鈴木紘一氏（塩沢）。同補充員に、芳賀眞一氏（板橋）、永沼悟氏（湯郷渡）、西倉重典氏（双里）、吉田浩子氏（下泉）が選任されました。

平成27年度 一般会計 特別会計 補正予算 審議結果

議案番号	議案	番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	議長
		議決結果	根本重泰	近内雅洋	瀬谷寿一	小木芳郎	増子美知夫	草野伝明	関根武一	渡辺実	瀬谷京子	永沼一夫	矢内義將	中村孝太郎	山田英重	下山田和雄
議案第23号	平成27年度石川町一般会計補正予算（第５号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第24号	平成27年度石川町国民健康保険特別会計補正予算（第２号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第25号	平成27年度石川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第26号	平成27年度石川町介護保険特別会計補正予算（第４号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第27号	平成27年度石川町簡易水道事業特別会計補正予算（第３号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第28号	平成27年度石川町水道事業会計補正予算（第３号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－

平成27年度 請願 発議 審議結果

議案番号	議案	番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	議長
		議決結果	根本重泰	近内雅洋	瀬谷寿一	小木芳郎	増子美知夫	草野伝明	関根武一	渡辺実	瀬谷京子	永沼一夫	矢内義將	中村孝太郎	山田英重	下山田和雄
請願第１号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
請願第２号	給付型奨学金制度の導入・拡充と教育費負担の軽減を求める意見書提出の請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
請願第３号	「寡婦控除を未婚の母子世帯まで拡大することを求める」意見書の提出を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
請願第４号	「ヘイトスピーチを禁止する法律の制定等の対策強化を求める」意見書の提出を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
請願第11号	北須川・今出川の河川名称の変更を求める請願書（継続審査分）	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
発議第１号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
発議第２号	給付型奨学金制度の導入・拡充と教育費負担の軽減を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
発議第３号	寡婦控除を未婚の母子世帯まで拡大することを求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
発議第４号	ヘイトスピーチを禁止する法律の制定等の対策強化を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－

第１回臨時会 1月27日

第１回臨時会は１月27日に開催され専決処分の承認１件、工事請負契約の締結１件、備品等の購入契約の締結３件が審議されました。

議案第２号 石川町役場新庁舎外構工事請負契約の締結について

役場新庁舎の排水、植栽、舗装等の外構工事を行うため、指名競争入札した結果、７９９２万円で落札されたことから工事請負契約を締結するため議会の議決を求めるものです。

審議結果 可決（賛成11名、反対２名）

議案番号	議案	番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	議長
		議決結果	根本重泰	近内雅洋	瀬谷寿一	小木芳郎	増子美知夫	草野伝明	関根武一	渡辺実	瀬谷京子	永沼一夫	矢内義將	中村孝太郎	山田英重	下山田和雄
議案第１号	専決処分の承認を求めることについて（平成27年度石川町一般会計補正予算-第４号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第２号	石川町役場新庁舎外構工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	－
議案第３号	石川町役場新庁舎町産材特注木製家具備品購入契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第４号	石川町役場新庁舎集密書庫用ハンドル式移動書架備品購入契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第５号	石川町立小中学校用サーバー等購入契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－

紙上中継

常任委員会審査

総務産業建設常任委員会

Q 今後、被災地特例措置がなくなるとどうなるのか

A 12路線すべて、補助対象外となる

▲路線バスの車内

Q 路線バス補助の内容は。

A 磐城石川駅、石川営業所を起点に12路線の路線バスが運行されており、平成27年度は約1500万円を補助しています。

Q 被災地特例措置、国・県助成がなくなるとどうなるのか。

A 国・県補助金の補助要件が緩和される被災地特例措置が終了すれば、12路線すべてが補助対象外となり、町の運行補助は年間5500万円を超える見通しです。

Q 今後の取り組みは。

A 地域公共交通活性化再生法に基づく地域公共交通網形成計画の策定に着手し、持続可能な公共交通ネットワークシステムの形成に努めます。

文教厚生常任委員会

Q 消防団員の活動服とは

A 法被に代わる活動服を貸与します

▶新しくなる消防団員活動服

Q 消防団員の活動服とは、どのようなものなのか。

A 活動服は、長年着用してきた法被にかわるもので、消防団員全員に帽子と活動服上下、ベルトを貸与するものです。

機動性はもちろん、高度の防災・耐熱性を有する生地を使用し、身体を保護するために、繊維組織自体が難燃性・熱防護性に優れています。

Q 石川町の特産品開発について

A 関係機関と連携し商品開発を進める

近内　雅洋　議員

質問 石川町独自のブランド品を作る考えはあるか。

答弁 主要農産物の生産拡大と加工の研究を進めることにより、付加価値を高めた、町独自のブランド品を作っていきたいと考えています。

要望 石川町の石を活かした製品づくりこそが、町独自のブランドになると考える。

また、石の成分を利用し、鉱物と農業の融合を検討してほしい。

質問 石川町のブランド品を立ち上げるために専門部署を設置する考えはあるか。

答弁 町単体での活動では限界があるため、今後とも石川地方農業振興協議会を中心に主要農産物の商品開発を進めたいと考えています。

要望 行政が中心になり指導を行い、専門の技術者を育ててほしい。

質問 町ブランド品として、付加価値の高い漢方薬や薬草等を、栽培指導する考えはあるか。

答弁 栽培するには課題の多い作物と認識しています。将来の漢方需要等を視野に、本町の気候風土に適した薬草等の栽培について、農業普及所等の指導をいただきながら検討します。

Q 千五沢ダムの水質改善策は

A 県と協議し取り組む

質問 水質悪化の原因である湖水に蔓延しているアオコ対策を伺う。

答弁 根本的な対策としてはダム湖内で発生したアオコ回収のほか、増殖を防止するため湖水を撹拌や遮光する方法もありますが、これらの対策には、多額の経費を必要とするため、県と協議をして水質改善に取り組みたいと考えています。

質問 アオコ発生の原因となっている、カワウの糞害対策は。

答弁 有害鳥獣対策として、銃器による個体数の調整等をしていかなければと考えていますので、猟友会等と協議をしながら対応していきます。

▶千五沢ダムに生息するカワウ

渡辺　実 議員

Q 通学検討委員会設置の考えは

A 新しい組織で考える

質問 学校統合から1年、子どもの通学の現状と課題を伺う。

答弁 4月から朝1便、帰り2～3便の通学バスを運行。また、冬期間は、安全上から一部ルートを変更し対応しました。停留所や待合場所、運行方法や乗降場所などの検討が必要です。

質問 冬の路線変更で困る人が出ている。課題検討のため、通学の検討委員会設置の考えを伺う。

答弁 新しい組織として考えていきます。

質問 個人送迎車の駐車場確保と安全確保を伺う。

答弁 石川小は町民グランド駐車場を利用していただきます。今年度中には舗装工事を行い送迎の待機場所を設置します。

質問 通学路の整備計画を伺う。

答弁 統合により通学路の整備が必要になっています。

要望 新町郵便局から中学校までと松作から福田までの整備を要望する。

▲完成が待たれる体育館

Q 生産費で売れるコメづくりの指導を

A 大事な課題と認識

質問 昨年10月、TPPの大筋合意が発表。TPPによる農業への影響を伺う。

答弁 コメの輸入枠の新たな増加に伴い政府は備蓄米を増やすとしていますが、農業への影響が懸念されますので、町も具体的施策に反映させます。

質問 稲作・畜産振興策を伺う。

答弁 町農業は高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増大、米価格の低迷で離農者の増加が進んでいます。圃場整備、農地集約で、省力化・低コスト化を図る必要があります。

質問 米60kg当たりの生産費は、0・5～1haで1万7700円、1～2haで1万4700円です。生産費で売れるコメづくりを指導すべきではないか。

答弁 大事な課題です。

要望 町独自の農業政策を行う決意を持って具体的に進めてほしい。

Q 安定した雇用づくりは

A 補助金等をPRし、誘致を進める

増子美知夫 議員

質問 町民アンケート調査では、「安定した雇用の支援」を望む回答が約6割を占める結果だが、町の雇用づくりの戦略を伺う。

答弁 県中地域の立地環境を有効に活用し、補助金等の存在をPRしながら本町への誘致活動を進めます。

質問 現在までの企業誘致交渉の状況は。

答弁 藤沢工業団地の誘致状況は2、3社と交渉を進めているが、まだ発表する段階にはなっていません。

石川町の既存企業にもPRし、町民の期待に応えられるように努力してまいります。

質問 「通信制専門校」誘致の新たな施策は。

答弁 国の地方創生戦略では、地方への人材還流と地方での人材育成の方策として大学・高等専門学校等の支援を図るとしています。現段階では、職業体験型の通信制高校の誘致を検討しています。

要望 石川町は若者の減少が慢性化している。教育という資源で若者の移動流態変化の可能性もある。積極的に進めて欲しい。

▲楽しそうに、桜のつるし飾りを作っています（白鳥の会）

Q 介護支援サービス新総合事業について

A 地域の実情に応じた支援

質問 要支援サービス事業が地域支援事業に移行されるが内容は。

答弁 今まで全国一律に行われてきた要支援1・2の方が地域支援事業に移行し、地域の実情に応じた新しい「生活支援総合事業」として位置づけられました。本町では平成28年3月から一年間で移行します。

質問 国が勧めている「健康マイレージ制度」の取り組み内容は。

答弁 「健康マイレージ制度」、「ボランティアポイント制度」は健康づくりの実践者が増えることで医療費・介護給付費の抑制など経済効果が期待されます。本町が今年8月から実施を検討中の「ポイント制」は「石川さくらカード」に各種検診、ウォーキング等に応じてポイントを付与し加盟店で使用できるよう検討しております。

瀬谷　寿一　議員

Q 老朽取水堰の長寿命化対策は

A 早急に対策を進める

質問 本町の特殊出生率は。

答弁 現在、1・46％で県平均を下回り、石川郡内では最も低くなっており、極めて深刻な状況にあると認識しています。

質問 民を高める施策は。

答弁 次世代を担う地元後継者の育成と支援を図り、若者や女性の創業及びソーシャルビジネスの設立を支援します。農商工連携による地域産業の強化、6次産業化や中小企業の販路拡大への支援を図るほか、田舎暮らし体験や就労体験プログラムを通して町外からの人材の流入を誘導します。

質問 魅力的な講師とプログラムで創業セミナーの充実は。

答弁 創業希望者が起業できるような支援を町と商工会が連携して実施します。

質問 若者定住に雇用促進住宅の活用を。

答弁 活用可能なものなのかどうかの確認作業を行っています。

質問 石川町でも公式フェイスブックの立上げは。

答弁 リアルタイムでの情報発信、相互交流ができ、有効な情報発信媒体であることから進めたいと思います。

要望 長野県小布施町などまちづくりの先進地では、大学との連携協力が充実している。本町でも積極的な取り組みをお願いしたい。

質問 さくらカードの活用拡大は。

答弁 地域貢献カード発行事業を軸に新たな活用策を8月実施で検討しています。

質問 さくらカードギフト券の取扱店が160店舗に増えた。町報奨金等の活用は。

答弁 よく検討させていただきます。

要望 町が事業を積極支援することで地元消費拡大やボランテイアの育成を図って欲しい。

質問 老朽堰の長寿命化は。

答弁 老朽化した施設の把握と機能を診断した上で、関係機関と協議し、早急に対策を進めます。

▲川入形見堰（双里字川入地内）

Q 子育て支援策で保育料のさらなる軽減は

A 適正な負担を求めていきたい

瀬谷　京子　議員

質問 若者世代の人口流失を防ぐ定住促進策は。

答弁 若者・子育て世帯の住宅取得に対し、費用の一部を補助します。新築や建売、中古住宅が対象です。また、空き家バンクを創設し、利用者の誘導を図っていきます。

質問 子育て支援の目玉は何か。

答弁 新規事業として、放課後児童クラブの利用時間を午後6時45分まで拡大。就学前の子どもが対象の屋内遊び場「いしかわスキッズ広場」を中谷自治センターに開設。更に、新生児誕生祝金を第1子から第3子まで5万円、第4子10万円、第5子以降20万円支給したいと考えています。

質問 保育料の現状は。

答弁 平成27年度に国の基準より1割以上引き下げました。また2人以上の子どもが保育所・幼稚園・認定こども園に入所の場合は2人目が半額、3人目以降は無料としています。

平成28年度は3歳児以上の上限を4400円減額し月額3万2900円と軽減を図ります。

▲いしかわスキッズ広場

質問 近隣町村で保育料の無料化が進み、職場の関係もあり転出がみられる。人口減少は社会の弱体化を招く。少子化で将来今の子どもたちの負担が大変になる。

支援の一環として町長の英断で保育料のさらなる軽減ができないか。

答弁 後世に負の遺産を残さない子育て支援を行います。

Q 新田地区開発に伴う渡里沢川の改修は

A 県へ要望を続ける

質問 下流域の不安をどう解消するのか。

答弁 渡里沢川は当町地内で今出川本流に合流します。増水時には本流の水位上昇により、渡里沢川に逆流し近辺住民が浸水の不安を抱いていると認識しています。

質問 対策は。

答弁 今出川の改修と併せた施工が不可欠で県へ要望を続けます。

また、逆流の一因でもある今出川（合流地点前後200m）の堆砂除去を県が雨期前に施工する予定です。

Q 障害者も不自由なく暮らせる町づくりの具体的施策は

A すべての人に利用しやすい施設整備を進める

中村孝太郎 議員

質問 障害者基本法が改正され、誰もが不自由なく暮らせる共生社会の実現のため、様々な事業が計画されているが、町の具体的施策は。

また、全ての事業所には身体・知的障害者の一定率の雇用が義務付けられているが、町の障害者雇用を伺う。

答弁 町では移動等の円滑化を図るために必要な町道の基準を定め、全ての人に利用しやすい道路整備を進めています。

また、平成27年度の障害者雇用は町長部局・教育委員会部局合わせて、3・42%です。

質問 町内の歩道は車いすでは困難である。歩道の改修などには障害者の意見も聞くべきではないか。

また、図書館に点字図書や音声図書を置くことによって障害者の社会参加も広がっていく。

役場に手話通訳の出来る職員はいるのか。

答弁 これからの問題等については十分に意見を尊重して取り組んでいきます。手話通訳に精通する者は数人います。

Q 臨時財政対策債の現在高は

A 平成27年度末現在高見込みは、33億367万円

質問 臨時財政対策債は国が地方交付税の財源不足分を地方自治体に借金させ、後年度の地方交付税に元利償還金を理論的に全額算入するもので、町の借金であることに変わりはなく危惧される。

臨時財政対策債の現在高と今後の考え方、地方交付税への算入の検証、今後町財政を圧迫する危険性はないのか。

答弁 平成27年度末現在高見込みは33億367万円、各種財源の状況を踏まえ、適切な発行をしていきます。検証により全額算入されていることを確認しており、町財政を圧迫することはないものと考えます。

▲町立図書室にも点字・音声図書を

Q 高卒者の町職員採用は

A これからの課題として考えていきます

質問 能力があっても家庭の事情で大学へ行けない子供も多くいる。その様な子どもに役場職員になる機会を与えることは貧困の連鎖を断ち切る上で大切である。

高卒者の採用について伺う。

答弁 これからの課題として考えていきます。

Q 地域自治協議会を本気でつくりたいのか!

A 問題点をよく検討して実践に入っていきたい

根本 重泰 議員

質問 平成26・27年度、各自治センターで自治協議会を立ち上げようとしているが、私には迷走しているようにしか見えない。地域自治協議会とは何なのか。

答弁 地域社会の維持、人財・団体などの組織化による地域力の向上、財源・情報・技術・地域資源の集約と有効活用、地域協働による活力のある地域づくりを目指す地域団体です。

自分たちの住むところは自分たちでつくる、地域の課題を話し合える場にしたいと思います。

質問 現場から「完成形が見えない」「周りの人に説明しにくい」という声が出ている。準備委員の皆さんも2年間活動しているが、この状況で良いのか。

答弁 主旨は理解していただいているものの具体的にどうなるのか説明が足りない部分があると思います。ゆっくりしたペースになっていますが、努力してまいります。

質問 どうして自治センターの強化ではいけないのか。

答弁 行政機関から住民主体の組織である自治協議会に移行することによって、幅広い組織やよりいろいろな制度を活用できる組織にしていきます。

▲中谷地区地域自治協議会準備委員会先進地視察

質問 自治協議会の運営の財源・人財はどう考えているのか。

答弁 名称が変わったからすぐ移行するのは難しいと思います。最低限の町助成は継続、事務長・センター長も当分の間は指定管理者で独立独歩できるよう、十分なバックアップをします。

質問 自分たちの地域は自分たちでつくると言うが、行政の役割は。

答弁 これからの自治体は特別なことがない限り、人口増も、経済発展も難しい。いち早く協議会組織に取り組み、地域の共同体をつくっていきたい。

要望 「丸投げだ!本気度が見えない!」という声も聞かれる。町長の理念を地域に浸透させようと本気で思うなら各地域に一人職員を配置する姿勢を見せられないものか。振り出しのところで行政が深く関わる。それが行政の仕事であり、町民福祉の向上につながることだと思う。

あれからどうなった？

一般質問のその後は

平成27年3月定例会より

ふるさと納税の実績は

●寄附の状況は

●平成27年12月からふるさと納税専門サイトに町特産品を掲載したところ約4ヶ月で、全国120名以上の方から979万3001円の寄附が寄せられました。

返礼品はいしかわ牛加工品や日本酒、温泉宿泊券などが人気でした。

今後も、さらに返礼品を充実させ町特産品等のPRが図られるよう積極的に推進します。

▶石川牛を加工したビーフシチュー

防犯灯のLED化は

●昨年までの実績は

●町の街路灯等のLED化については、平成25年度から実施しており、本宮、馬場町、双里の各行政区において、総数115基を整備しました。

また、平成27年度は、商工会が事業実施主体となり、旧町内の該当箇所400基のLED化を図っています。

●平成28年度実施内容は

●平成28年度については、約270基を整備する予定です。

各行政区と協議しながら整備を進めていきたいと考えています。

●平成29年度以降の計画は

●平成29年度以降については、約460基のLED化を図り、環境にやさしい住みやすいまちづくりの整備に努めていきたいと考えております。

▶LEDに変更された防犯灯

報告します 議会の活動

元気な石川町をつくるには

2月15日、当議会では福島民友新聞社取締役兼論説委員長の加藤卓哉氏を講師に迎え、「元気な石川町をつくる」について議員勉強会を開催しました。

講師から、住んでいると気づかない資源やイベント等を一度見直してみれば、良いものを再発見できるかもしれない。当たり前のことを当たり前に思わずに考えることが大事である。

就労場所があり、人が集まり、家庭を持ち、子どもが生まれるという循環ができれば町は元気になる等の講話がありました。

石川町が持っている宝を活かしつつ、交流人口を増やす努力をすることが必要であると考えさせられる研修会となりました。

▲町の宝をもう一度見直してみては

読みやすい広報誌づくりを学ぶ

議会広報編集特別委員会では、2月2日に福島民報社石川支局長の秋山義仁氏を講師に迎え「読みやすい広報誌づくり」について研修会を開催しました。

研修では、まず、手にとってもらえる広報誌にするためには、インパクトのある見出しや写真、さらに、誰にでも分かりやすい内容であることが重要だということを学びました。

今後もより良い議会だよりづくりに努力します。

▲手にとってもらえる広報誌を目指して

未来に向かって!!

ー高校生の声ー

学法石川高校 3年 矢内（やない） 千聖（ちひろ）

模擬選挙を経験して

矢内千聖さん

先日、学法石川高校では18歳への選挙権の年齢引き下げに伴い、模擬選挙が行われました。

県の選挙管理委員会事務局の方から選挙についての資料をいただき、学校の先生から説明を聞きました。私たちは初めて経験する公的な選挙に興味を持ち、皆、真剣に聞いていました。

しかし、選挙という行為に対して、自分の一票がどれほど大事であるかということが実感としてまだあまりないというのが正直なところでした。

「私たち若い世代の意見を反映する手段の一つなので、できる限り放棄しないでほしい」という説明があり、ふと考えたのが、政治をまだよく分からない生徒の私たちが、むやみに投票してよいのだろうか、頭に浮かんでくるのは18歳選挙権への疑問ばかりでした。

しかし、年齢を引き下げた目的を、もう一度考え直してみました。今の日本は少子高齢化が進み、若者の存在感が薄れてきています。そこで、やはり若者の声というものが必要となるため、選挙権が引き下げられたのだと理解し、投票は行くことに意味があるのだと感じるようになりました。

▲日々練習に励んでいる吹奏楽部

模擬選挙の立候補者は年金や介護、そして近未来エネルギーが大事だと訴えかけていましたが、私たち生徒が今、一番関心があるのは、「いじめ」や「就職」そして「受験」です。

まずは、身近な問題に対してこうあってほしいという自分の考えをしっかり持ったうえで、候補者の考えをよく聞き、理解する必要があります。そのうえで、無理に大人ぶろうとせずに、今感じていることや素直な気持ちを大切にして、投票に向き合えばよいのではないかと思います。

今回のこの模擬選挙を通して、自分の一票がこの国を変えるのだと、そういった意識が芽生えました。政治のことをもっと学んでこれからの選挙、投票に臨みたいと考えています。

編集後記

「議会だより」は、議員の手作りの広報誌です。

本委員会では、開かれた議会を目指し、みなさんに伝えたい記事の選定等、常に議論を重ねています。

先日には、県内新聞社の支局長を講師に、情報収集や編集について講義を受け勉強させていただきました。

今月号からは、読みやすい紙面づくりを目標に、文字を大きく、行間を広く、段落を6段から5段に変更しました。

ご意見等をいただければ幸甚です。

増子　美知夫

議会広報編集特別委員会
委員長　根本　重泰
副委員長　瀬谷　寿一
委員　近内　雅洋
委員　小木　芳郎
委員　増子美知夫
委員　山田　英重

石川町議会　〒963-7893　福島県石川郡石川町字下泉153-2
TEL 0247(26)2116　FAX 0247(26)0360　http://www.town.ishikawa.fukushima.jp/
平成28年5月1日発行
再生紙を使用しています